

西臼杵地域の普及活動（普及活動月報）

令和8年7月 西臼杵支庁
(西臼杵農業改良普及センター)

目次

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

- 1 【管内】新規就農者応援セレモニーの開催
- 2 【管内】農業経営支援センター運営協議会・幹事会
- 3 【管内】プレ全共 西臼杵代表牛決定検査

II 主な普及指導活動等の取組み

1 地域プランに基づく普及活動

- 1 【管内】西臼杵型放牧ネットワーク会総会および現地研修会の開催
- 2 【管内】畜産経営における個別相談会を実施
- 3 【管内】米の新品種「ひなた舞」の栽培技術研修会を開催
- 4 【高千穂町】水稻現地研修会を実施
- 5 【高千穂町】ミニトマトの高温対策実証の開始
- 6 【高千穂町】露地ピーマンの高温対策実証の開始
- 7 【日之影町・高千穂町】きんかん巡回で高温対策指導と意向調査を実施
- 8 【日之影町】くりの早生品種の特性調査と産地振興に向けた検討会を実施
- 9 【日之影町、五ヶ瀬町】
ラナンキュラスハウスでの細霧冷房装置の導入に向けた現地検討を実施

2 地域課題一覧に関する普及活動

- 1 【日之影町】8月に出荷の最盛期を迎えるホオズキの出荷目揃え会を開催

I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

1 【管内】新規就農者応援セレモニーの開催

10日、ゆめゆめプラザTACにおいて、JAみやざき高千穂地区本部主催の標記セレモニーが開催されました。

当日は、令和7年度に新たに就農した6名と、JA関係者、生産組合、JA青年部、JA女性部、各町、支庁などの多くの関係者が出席しました。

JAみやざき高千穂地区本部長からの激励の言葉に続き、新規就農者からは、就農に至った経緯や将来の営農目標、農業への意気込みが語られ、出席者一同、今後の活躍に期待を寄せました。

普及センターでは、今後も各町やJA等の関係者と連携し、新規就農者の経営安定に向け支援していきます。



JAみやざき高千穂地区本部
新規就農者応援セレモニー

2 【管内】農業経営支援センター運営協議会・幹事会

14日、ゆめゆめプラザTACにおいて、標記運営協議会・幹事会が開催され関係者12名が出席しました。

本会議では、令和7年度の事業実績と収支決算、令和8年度の事業計画および収支予算について審議が行われ、すべて承認されました。

普及センターでは、引き続きJAと連携しながら管内農業者のさらなる経営改善に向けた支援に取り組んでまいります。



農業経営支援センター
運営協議会・幹事会

3 【管内】プレ全共 西臼杵代表牛決定検査

29日、高千穂地区家畜市場において、第13回全共宮崎県出品対策共進会に向けた西臼杵管内の代表牛決定検査が実施されました。

第1区から第4区までの各部門において、体型や改良の進展状況などが厳正に審査され、管内を代表する10頭が選抜されました。

選出された代表牛は、9月25日・26日に都城地域家畜市場で開催される県出品対策共進会へ出場します。

普及センターでは、引き続き出品に向けた最終調整をサポートし、管内の技術水準の向上に努めてまいります。



プレ全共西臼杵代表牛決定審査

Ⅱ 主な普及指導活動等の取組み

1 地域プランに基づく普及活動

1 【管内】西臼杵型放牧ネットワーク会総会および現地研修会の開催

15日、普及センターにおいて、標記ネットワーク会総会が開催され、生産者13名と関係者が参加しました。

総会終了後、西臼杵支庁農政水産課からは「粗飼料自給率100%事業」について、普及センターからは、熱中症対策や労務管理研修会について情報提供を行いました。

現地研修会では、放牧ネットワーク会員（高千穂町）の放牧地を見学し、地形に応じた管理方法や飼養技術について活発な意見交換が行われました。

今後も普及センターでは、個別巡回を通じて、放牧技術の向上のための支援を行います。



西臼杵型放牧ネットワーク会
現地研修会

2 【管内】畜産経営における個別相談会を実施

肉用牛繁殖経営における承継及び就農に関する個別相談を以下の日程で実施しました。

○28日：高千穂町 親元就農、経営開始計画等

○30日：日之影町 承継、就農サポート事業に関する専門家派遣等

今後は、役場等の関係者と共に経営開始計画作成等の助言を行い、相談者の安定的な就農と経営の発展に向けて支援していきます。

3 【管内】米の新品種「ひなた舞」の栽培技術研修会を開催

13日、普及センターにおいて、米の新品種「ひなた舞」の研修会を開催し、生産者15名および関係者が参加しました。

今回は「西臼杵地区営農振興協議会作物部会」との合同開催とし、本品種の栽培技術や、管内の実証ほにおける生育経過を共有し、技術員も含めた関係者全体で知見を深める良い機会となりました。

参加した生産者からは大きな関心が寄せられ、継続的な学習を望む声があがるなど、新たな米づくりへの意欲の高さがうかがえました。

普及センターでは、収穫前の秋頃に第2回の研修会を開催する予定です。今後も関係機関と一丸となり、「ひなた舞」の安定生産と地域農業の活性化を推進してまいります。



ひなた舞栽培講習会

4 【高千穂町】水稻現地研修会を実施

30日、高千穂町川登地区において標記研修会を開催し、水稻生産者17名と関係者が参加しました。今回は、兼業農家も参加しやすい夕刻からの開催となりました。

研修会では、新品種「ひなた舞」の展示ほを参加者に観察してもらいながら、品種特性や適切な管理技術、特別栽培に関する情報提供を行いました。

普及センターでは、今後も中山間地域における水稻栽培技術の向上に努めていきます。



水稻現地研修会

5 【高千穂町】ミニトマトの高温対策実証の開始

6日、高千穂町下野のミニトマト栽培ハウスにおいて、関係機関および園主ら7名が参加し、高温対策のための遮熱資材の設置作業を行いました。

本実証では、ハウスの被覆素材を遮熱効果のある資材に張り換え、従来の慣行資材を張っているハウスを対象に、ハウス内の気温および地温の変化、ミニトマトの生育状況・収量等を継続的に調査し、当該資材の効果を科学的に検証する予定です。

園主からの期待も高く、普及センターとしては、本実証から得られた成果データを生産部会へ速やかに共有することで、地域全体の栽培技術の向上と高温対策の推進につなげていきます。



遮熱資材の設置

6 【高千穂町】露地ピーマンの高温対策実証の開始

14日、高千穂町黒仁田の露地ピーマンほ場において、遮熱資材の効果検証を開始しました。

本実証では、ピーマンの株上部に遮熱資材を展張し、厳暑期における生育不良の抑制や、高温による障害果の軽減効果を検証します。

今後は関係機関と連携し、気温や地温データ、生育や収穫状況の調査を継続的に実施予定です。

普及センターとしては、本試験で得られた知見を地域の生産者に共有し、高千穂地域の主要品目である夏秋露地ピーマンのさらなる安定生産と品質向上につなげていきます。



園主やJ Aと連携して
遮熱資材を設置

7 【日之影町・高千穂町】 きんかん巡回で高温対策指導と意向調査を実施

7日と8日の2日間、日之影町及び高千穂町において、関係者5名できんかん生産者22戸の定期巡回を実施しました。

巡回では、着果状況の確認や病虫害の防除指導に加え、品質低下を防ぐため「す上がり」対策を徹底するよう助言を行いました。

また、高齢化に伴う事業承継を見据え、園主への意向調査を実施しました。これにより、生産者にとっても自身の園地の将来について改めて考える機会となり、関係者としても今後の支援の方向性を認識することができました。

今後も、きんかんの安定生産と出荷、品質向上に向けた栽培指導を強化すると共に、地域農業の未来を支える円滑な事業承継についても、関係機関と連携しながら積極的にサポートしていきます。



きんかん園地の灌水確認

8 【日之影町】くりの早生品種の特性調査と産地振興に向けた検討会を実施

15日、日之影町役場において関係者4名が集まり、今後のくり産地の振興に関する打ち合わせを行いました。

現在、取引先への安定供給体制の構築が大きな課題となっています。特に8月下旬から9月上旬にかけての出荷量を確保・安定させるためには、早生品種の生産量確保が重要で、そのため品種特性を再確認した上で、品種ごとの植栽本数の適正化などを図っていく必要があります。

今回の協議では、調査対象となる品種や調査ほ場を選定し、今後のスケジュールについて調整を行いました。今後は品種ごとに、収量や収穫時期、加工適性（食味）に関する調査を、関係機関と連携して順次実施していく予定です。

普及センターでは、今後も関係機関と一丸となり、くり産地の推進方向を明確にしながら、所得向上と持続可能な産地づくりを目指していきます。



関係者と産地の現状を共有

9 【日之影町、五ヶ瀬町】 ランキュラスハウスでの細霧冷房装置の導入に向けた現地検討を実施

16日、細霧冷房装置の導入を希望するランキュラス生産者2名のほ場にて、施工業者を交えて必要資材の確認を行いました。今回の打ち合わせでは、事前に作成したハウスの間取り図や見積書案と、実際のほ場環境を詳細に照らし合わせながら、必要な資材の数量や規格について検討を行いました。

その結果、設置完了までの具体的な工程や導入における留意事項が明確化され、生産者と円滑にイメージを共有することができました。

普及センターとしては、生産者が安心して導入を進められるよう関係者と連携し、ランキュラスの高品質化に向け支援していきます。



細霧冷房装置の設置に向けた
現地検討

2 地域課題一覧に関する普及活動

1 【日之影町】8月に出荷の最盛期を迎えるホオズキの出荷目揃え会を開催

22日、日之影町の生産者ほ場において、8月出荷型ホオズキの出荷目揃え会が開催されました。

生産者や市場関係者など17名が参加し、出荷日や品質・規格等の最終確認を行いました。

J Aの販売担当者からは、最新の販売情勢や出荷に際しての注意点・指導があり、参加者は熱心に聴講していました。普及センターからは、来期に向けた健全な実生苗づくりに関して優良株の選定から播種までのポイントや、種子の乾熱滅菌処理について説明を行いました。

本格的な出荷期を迎えるにあたり、普及センターでは引き続き安定した出荷をサポートしていきます。



ホオズキ出荷目揃え会